

# 日本鐵鋼協會記事

## 編輯委員會 (昭和 16 年度第 6 回)

日時 昭和 16 年 9 月 17 日 (水) 自午後 5 時至午後 8 時  
 出席者 理事 田中清治君 編輯委員 池田正二君 石原善雄君  
 石川薫君 橋本正一君 岡部長衡君 横山均次君 俵信  
 次君 前田六郎君 齋藤彌平君 志村繁隆君 志村清次  
 郎君 主事 金谷三松君

### 協議事項

1. 會誌第 11 號上掲論說原稿の選定
2. 會誌第 10 號上掲抄録原稿の選定
3. 會誌第 10 號上掲翻譯原稿の委嘱
4. 會誌第 10,11 號上掲抄録原稿分擔委嘱
5. 抄録原稿料増額原案を作成し理事會に提議のこと

## 講演會 (昭和 16 年度第 4 回)

昭和 16 年 9 月 18 日 (木) 自午後 6 時 30 分至午後 9 時 15 分  
 麴町區霞ヶ關 法曹會館  
 講演 山西省の製鐵視察談 (1 時間 40 分) 正會員 藤田清一君  
 映畫 1. 獨逸國に於ける兵器製造工場 1 卷 } 獨逸大使館  
 2. 獨逸戰線=ユース(希臘戰線) 2 卷 } 御提供  
 3. 唸るカメラ 1 卷 } 理研文化映畫  
 4. 陽炎 1 卷 }

入場者 106 名

## 電氣製鋼研究會

### 第 1 小委員會 (第 26 次)

昭和 16 年 9 月 20 日 (土) 自午前 9 時 30 分至午後 2 時  
 本會事務所 出席者 13 名

### 議事

1. 幹事より電氣製鋼用電極規格案に對する電氣協會側の意見を述べ、別紙の通り決定 (別紙卷末参照)
2. 爐體主要寸法表中⑤(報告 III 11 頁附錄 1 の 5) を次の通り訂正  

容量 t	3	6	8	10	15	20	25	30	40
⑤	2,600	3,210	3,500	3,700	4,270	4,620	4,980	5,280	5,880
3. 爐蓋煉瓦圖面を高田委員訂正すること
4. 裝入口, 出鋼口, 爐壁煉瓦を小森委員訂正すること
5. 次回の研究題目  
 (イ) リアクトルの容量 (ロ) 電極把持器及びエコノマイザ  
 (ハ) 電極原料問題 (ニ) 優良耐火物  
 (ホ) 高周波電氣爐の標準型
6. 次回は昭和 16 年 10 月 21 日 (火) 午前 9 時 30 分開催  
 豫定

野田文庫購入圖書 (9 月中購入)

## 新入會者 (自 9 月 1 日~至 9 月 30 日)

居所又は宛名先	職業及び勤務先	會員別	入會者氏名	紹介者氏名
大阪府北河内郡三郷町松下乾電池會社電氣化學部		正	天 野 保 司君	金谷 三松・村松橋太郎
長崎縣長崎港外香燒島川南工業會社香燒島造船所製鋼部		〃	三 島 正 明君	金谷 三松・村松橋太郎

## 外書

Authors	Titles
Iron and Steel Institute.	Second Report of the Alloy Steels Research Committee
	Special Report. No. 24. 1939

## 理事會 (昭和 16 年度第 8 回)

日時 昭和 16 年 10 月 1 日 (水) 午後 5 時開會 午後 7 時閉會  
 出席者 會長 渡邊三郎 副會長 吉川晴十 理事 石田四郎  
 鹽澤正一 監事 松下長久 常務委員 志村繁隆 主事 金谷三松

### 協議事項

1. 秋季大會の晚餐會は會場が防空訓練の爲め取止めと決定
2. 10 月 8 日 (水) 實行委員に大會々場の巡視を願ふこと
3. 電氣製鋼研究會幹事會を 10 月 19 日の講演後第一會場にて開催のこと
4. 日本機械學會と聯合實施の自動車用鐵鋼材研究會を 11 月 1 日 (土) 午後 1 時より帝國鐵道協會々館に於て開催すること
5. 日本耐火物協會主催 11 月 24 日~29 日開催の耐火物講習會に後援協會として連名の件承諾
6. 抄録其の他原稿料増額の件承認

## 入退會者及び會員異動の件

會員異動總計表 (9 月 1 日~30 日)

	名譽會員	維持會員	贊助會員	正會員	准會員	計
入會者數				+ 8	+ 36	+ 44
退會者數				- 1	- 5	- 6
死亡者數						
轉格者數				+ 2	- 2	
9 月末現在會員數	13	57	24	2,356	2,451	4,901

轉格者 (准會員より正會員へ) 氏名 今富政平君 若林章治君  
 退會者氏名 正會員 山之内越君  
 准會員 山田菫君 秋山爲久君 佐藤英二君  
 佐藤忠義君 雄倉伸明君

## 報告事項

1. 昭和 16 年度 8 月分收支報告
  2. 昭和 16 年度上半期收支決算報告
  3. 編輯委員會 (昭和 16 年度第 6 回)
  4. 電氣製鋼研究會 (第 1 小委員會)
  5. 講演會 (昭和 16 年度第 4 回)
- 前記の通り

居 所 又 は 宛 名 先	職業及び勤務先	會員別	入 會 者 氏 名	紹 介 者 氏 名
鳥取縣日野郡黒坂町黒坂 210		正	大阪特殊製鋼會社黒坂工場	吉本 幸市・村松橋太郎
滿洲國本溪湖市宮原北地大和寮	工學士 本溪湖煤鐵公司	"	一 戸 正 良君	谷 村 照・今井 弘
長岡市石内町 62	理研工業會社宮内鑄造工場研究室	"	赤 部 一 君	細貝 信三・諸橋 健三
神奈川縣高座郡茅ヶ崎矢畑 830 丸富特殊鋼會社	取締役社長	"	富 田 三 之 助君	谷山巖・丸富特殊鋼會社
"	常務取締役	"	近 藤 敏 治君	谷山巖・丸富特殊鋼會社
京橋區銀座西 6 / 2 東海堂ビル 日鐵技術研究所	理學士	"	前 田 武 雄君	海野 三朗・前田 六郎
臺北市川端町 420	臺灣電力會社企畫課	准	朽 木 雄 藏君	原 本 利 雄
川崎市渡田 3 / 890	特殊製鋼會社製鋼課	"	竹 花 其 一君	渡 部 正・稻木 正夫
兵庫縣武庫郡瓦木村下瓦林豊年 237	大阪帝大學生	"	森 康君	藤 井 寛
室蘭市御前水町社宅 564 號	日本製鋼所室蘭製作所	"	加 藤 千 幡君	甲 藤 漸
室蘭市母戀南町 39 社宅 352 號	"	"	柏 倉 省 三君	"
室蘭市茶津町同袍寮	理學士 日本製鋼所室蘭製作所	"	野 村 純 一君	"
室蘭市茶津町社宅 126 號	工學士 "	"	北 川 重 二 郎君	"
室蘭市茶津町同袍寮	工學士 "	"	東 海 林 大 助君	"
川口市榮町 3 / 30	日本ビストンリング會社與野工場	"	正 木 秀 幸君	瀧 元
橫濱市鶴見區末廣町 2 / 1 日本鋼管會社鶴見製鐵所		"	渡 部 武君	雨 宮 康 之 助
八幡市日鐵八幡製鐵所研究所	工學士	"	矢 毛 石 榮 造君	遠 藤 勝 洋 郎
滿洲國新京市新京工業大學冶金學科	學生	"	池 田 友 吉君	堀 内 深 彦
"	"	"	谷 口 宇 内君	"
"	"	"	鈴 木 重 利君	"
廣島市廣瀬北町 44 / 1	東洋工業會社熱處理工場	"	薦 田 四 郎君	金 谷 三 松
城東區大島町 4 日本曹達會社大島製鋼所		"	濱 田 藤 作君	高 橋 了
大阪市住吉區田邊東之町 6 / 30	大阪陸軍造兵廠研究所	"	小 野 節 三君	中 村 一 郎
城東區大島町 4 日本曹達會社大島製鋼所	工學士	"	金 澤 三 郎君	高 橋 了
杉並區井荻 2 / 125	工學士 日本高周波重工業會社北品川工場	"	藤 田 眞君	菊 池 麟 平
本所區綠町 3 / 6	三菱重工業會社東京機器製作所	"	小 島 千 秋君	狩 野 一
釜石市公園社宅	法學士 日鐵釜石製鐵所	"	清 水 直 男君	富 永 在 寛
大阪市淀川區新高北通 1 日昭莊	日新製鋼會社	"	高 橋 久 夫君	藤 田 祐 弘
川崎市大師河原上殿町 486L 日本金屬工業會社川崎工場		"	栗 木 誠 信君	水 野 忠 廣
神戸市脇濱町 1 神戸製鋼所第二製鋼工場		"	石 原 悟君	大 澤 隆 三
滿洲國哈爾濱市南崗郵政街 155 / 20 號 加藤方	哈爾濱工業大學學生	"	入 江 良 一君	森 棟 隆 弘
滿洲國哈爾濱市南崗工業大學寮	"	"	樋 口 隆 一君	"
神戸市兵庫區北逆瀬川町 98 / 1	日亞製鋼會社帶鐵工場	"	福 井 五 郎君	木 下 開 作
下松市日立製作所笠戸工場		"	細 坂 仁 人君	中 野 正 義
新居濱市西前 眞鍋方	學生	"	龜 岡 比 天 夫君	金 谷 三 松
淀橋區百人町 3 / 263 植松方	"	"	澁 谷 勝 美君	田 中 清 治
目黒區中目黒 4 / 1395	早大鑄物研究所	"	樋 口 末 治君	田 崎 正 治
兵庫縣印南郡米田町島村 306	大阪陸軍造兵廠播磨製鋼所	"	田 淵 勝 太 郎君	保 田 正 二
江戸川區小松川 2 / 98	日本鑄鋼會社	"	叶 澤 秀 治君	青 木 元 直
大阪市旭區赤川町 1068	武藤電氣製鋼所研究室	"	兒 玉 秀 吉君	金 谷 三 松
富山縣新湊町日本鋼管會社		"	清 水 定 雄君	石 垣 喜 八 郎